

英語論文執筆セミナー



URAプレゼンツ, -論文英語の基礎理論とその実践応用- **初・中級者向け**

セミナー開催 2018年4月23日【月】 12:50~17:10

本学農学部C101講義室 (受付: 12:30開始)

対象: 教員・研究員・院生 参加費: 無料 定員: 100名 (定員になり次第受付終了)
(学内限定・文系理系問わず) ※講義は英語で行われます。

本セミナーでは、初級コースとして①Grammar and Usage-文法と用法、②Punctuation-句読点の正しい付け方、および中級コースとして③研究論文の執筆と修正、④カバーレター執筆と査読者への回答について講義がなされます。ここで取り扱う例題は医学系・理工学系の内容が中心となりますが、専門知識は必要でなく、文系を含むすべての研究者にご受講いただけます。ご自身の研究成果の国際発信力向上にぜひお役立て下さい。

講師



David Kipler 先生
(カクタス・コミュニケーションズ(株) 専属講師)

David講師は米国の大学卒業後、20年以上に渡り日本を含むいくつかの国で生物医学研究者と協働してきた経験があります。バイオメディカル出版に長年携わっており、Journal of Epidemiologyを含む日本のいくつかのジャーナルの言語エディターとして活躍しています。

お申し込み (予約制)

受付: 4月2日【月】 ~16日【月】

研究推進課研究助成グループ宛にメールにてお申し込みください。

- 件名を「英語論文執筆セミナー」
- 本文に「①氏名(フリガナ)」、「②所属(部局・専攻等)」、「③身分(教員、研究員、大学院生)」をご記載下さい。

あて先はこちら↓

gksh-jimu@research.kobe-u.ac.jp

プログラム ※プログラムの一部のみの参加も可能です。

1. 12:50~14:50 (初級編)

①Grammar and Usage-文法と用法

インパクトの大きいジャーナルでの発表を目指すにはその分野での基本的な用法上の慣習を意識する必要があります。特に生物医学の例を取り上げて、研究者にとって重要な文法と用法の諸要素を説明します。

②Punctuation-句読点の正しい付け方

句読点の取り扱いが過小評価されがちですが、明瞭なライティングには一貫性があり、その使用には賢明さが求められます。句読点の様々な役割を説明し、よくある間違いや誤解を解説します。

2. 15:10~17:10 (中級編)

③研究論文の執筆と修正

まず論文執筆の原則を説明した後、実際に研究論文中文例について改善方法を説明します。併せてサイエンスライティングにおいて適切な英語表現を見つけるためのgoogle scholarの使用法をお伝えします。

④カバーレター執筆と査読者への回答

カバーレターの出来ばえは査読プロセスの進捗に影響を与えます。また査読者のコメントへの回答には、取り分け不条理な場合などには細やかな配慮やコツが必要とされます。これら投稿プロセスの留意点を説明します。



会場マップ: 六甲台第2キャンパス

お問い合わせ: 研究推進課 (徳本、小板橋)
Tel .078-803-5395 (メールは申し込み先と同じ)

主催: 神戸大学 学術・産業イノベーション創造本部(URA)
共催: 神戸大学附属図書館、神戸大学男女共同参画推進室
(女性研究者研究活動支援事業[連携型])